

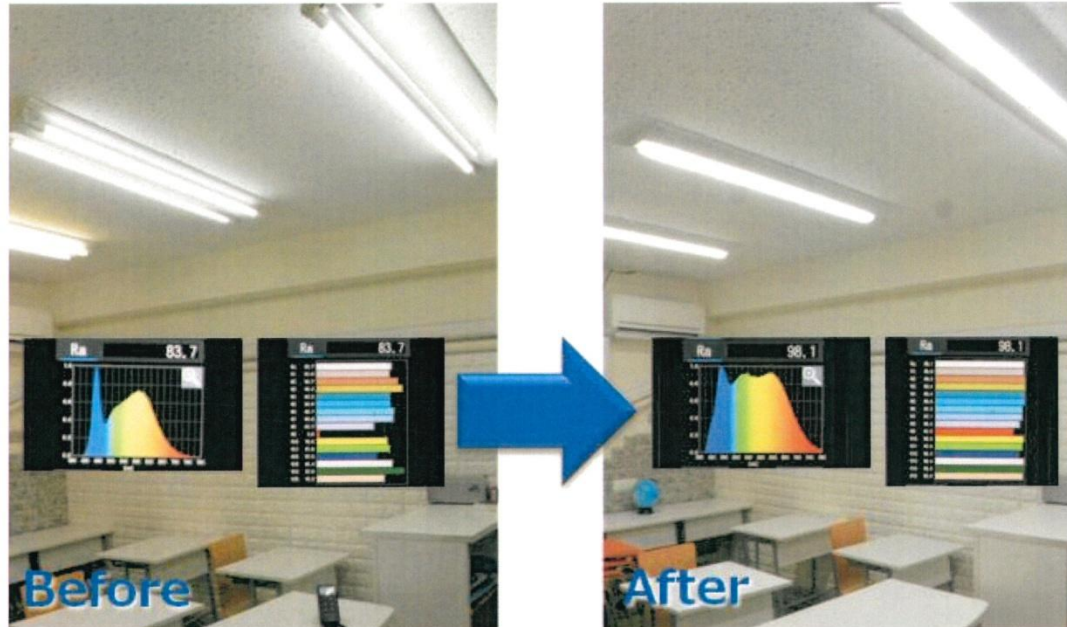


「一日の中で長く居る場所だからこそ、地球にも社員の健康にも優しい環境づくりをしていきたい」と、事務所に陽光LED照明「明王」を導入されたナカタ産業株式会社様(大阪府)。同照明の、やわらかで健康的な光は、集中力の向上・緊張感の緩和・疲労の減少などが確認されており、オフィス照明としての適性が高い。

を高め、夕方以降は心身を穏やかにするという効果を促進する。測定器を用いれば、太陽光と同製品は分光分布が同等であることは一目瞭然であり、一般的なLED照明との違いも明らかだ。同製品はあらゆる波長の光がバランスよく含まれた太陽光と同等であり、ブルーライトが突出した一般的なLED照明とは大きく違う。

以前は、電磁波を抑制したLED照明を開発していたが、ブルーライトや低演色性が引き起こす免疫力低下などの健康障害が明らかになるにつれ、「このままいいのか」と自問自答。そして「社会貢献のためにも新たな技術を開発しなくては」と考え、同製品の実現に至ったという。

「もちろん自分自身が欲しい製品だったということもありましたが。でも、世界に無いもの



一般的なLED照明(左)は、肉眼ではわからないものの「強烈なブルーライト」を放っており、心身に深刻な悪影響を与え続けている。医学部・難関大向け学習塾「セントメプレス」様(名古屋市)は、「生徒にはできる限り良い環境で勉強して欲しい」と陽光LED照明「明王」(右)を全国に先駆けて導入。

太陽光と同等の「健康な光」で 活力を促進するLED照明を開発

心身の不調は身近な
LED照明が原因だった

生命の根源となるのが水、空気、陽光。しかし進化とともに電気や照明を手に入れた人類は、特に太陽光の恩恵を手放してしまっている感がある。

そんな社会に警鐘を鳴らすのが「株式会社グリーンユーティリティ」の代表森幸一さんだ。森さんは様々な国立大学で教鞭をとり、国内外で論文を発表するなど、グローバルに活躍した経歴を持つ人物。現在も産学協同で、環境・省エネ関連技術を活かした商品開発に力を注ぐ。そんな同社の注目製品が「陽光LED明王」。太陽光と同等の「健康な光」を再現

したLED照明だ。

そもそも太陽光には、体内時計を調整する働きがあり、セロトニンを作り、メラニンを発生させ、免疫力をも向上させるなど、様々な健康障害の抑制につながる効果がある。

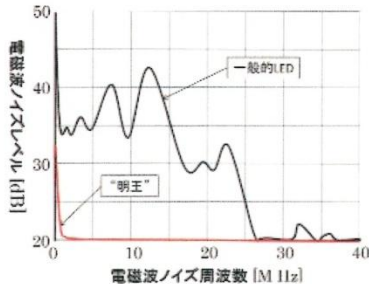
「一般的なLED照明は、強烈なブルーライトや電磁波、フリッカー(ちらつき)により、頭痛をはじめ、ストレスや睡眠障害、めまいや吐き気、視力障害、消化器障害などの健康被害を及ぼすことがわかっています」

太陽光と同等の光を再現する同製品は、朝日や昼間の陽光、夕方の陽光をリアルタイムに自動調整(手動も可能)しながら再現。太陽に代わって体内時計を整え、日中は作業効率

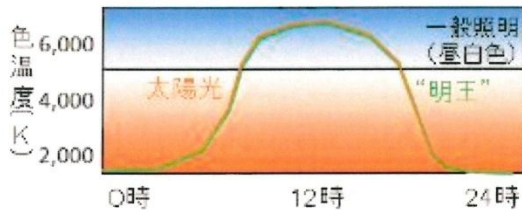
をつくらうという決意もありました。

「陽光LED明王」は、主に日中に使用されるオフィスや学校、工場などの事業所向けと、一般家庭向けの二タイプを開発。医学部、難関大向け学習塾にも採用されており、評価も高い。仕事や勉強の効率化や健康促進は、まず照明からといえそうだ。

(ライター/ナガノリヨウ)



一般的なLED照明(黒線)は、電磁波を放ち、電子機器だけでなく心身にも悪影響を及ぼし続けている。陽光LED照明「明王」(赤線)は、電磁波ノイズほぼゼロを実現した唯一無二の照明だ。



ヒトは、一日を通しての太陽光の色温度変化を感じ取って、体内時計を整えている。ところが、一般照明は、色温度が常に一定かつ低演色であるため健康を害してしまう。陽光LED照明「明王」(家庭用)は、高演色かつ色温度を太陽光に同調させることに成功。

株式会社 **グリーンユーティリティ**

☎ 052-979-8900
 ✉ mori@greenutility.co.jp
 ① 愛知県名古屋市東区代官町33-13
 http://greenutility.co.jp/